

令和元年 7 月 22 日
国土交通省 中部地方整備局令和元年度 中部地方整備局入札監視委員会
総会及び第一部会第1回定例会議を開催しました

－ 議事及び審議概要を公表します －

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識研究者等で構成する第三者機関であり、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

総会については以下のとおりです。

また、第一部会第1回定例会議については、発注工事等の中から抽出した6件の事案について審議し、内容については「表1」のとおりです。

○ 令和元年度 中部地方整備局入札監視委員会 総会

1. 開催日時及び場所 日 時：令和元年 7 月 8日(月) 15時00分～15時20分
場 所：名古屋合同庁舎第二号館 6階 中部地方整備局会議室

2. 議事概要 (1) 委員長の選出及び委員長代理の指名
「3. 委員名簿」のとおり選出及び指名されました。
(2) 委員の所属部会の指名
「3. 委員名簿」の()書のとおり指名されました。

3. 委員名簿 (委員は五十音順)

委員長 (第一部会)	ながた かずとし 永田 和寿	名古屋工業大学 大学院 工学研究科 准教授
委員長代理 (第二部会)	はやし しゅうや 林 秀弥	名古屋大学 大学院 法学研究科 教授
委員 (第一部会)	おおしま よしあき 大島 嘉秋	公認会計士
委員 (第一部会)	こじま じゅん 小島 淳	名古屋大学 大学院 法学研究科 教授
委員 (第一部会)	なかむら まり 中村 麻理	名古屋文理大学 健康生活学部 教授
委員 (第一部会)	はしもと しゅうぞう 橋本 修三	弁護士
委員 (第二部会)	かしま ひかる 加島 光	弁護士
委員 (第二部会)	なかむらともあき 中村 友昭	名古屋大学 大学院 工学研究科 准教授

4. 配布先 中部地方整備局記者クラブ

5. 問い合わせ先 中部地方整備局 ① 主任監査官 置田 裕巳 TEL052-953-8113
② 契約管理官 小島 沙織 TEL052-209-6316
※ 第1回定例会議に関しては、①にお願いします。

表 1

令和元年度 中部地方整備局入札監視委員会
第一部会 第1回定例会議審議概要

開催日及び場所	令和元年 7 月 8 日（月） 15時30分～17時00分 名古屋銀行協会会館 2階 201号室	
委員	部会長：永田 和寿（名古屋工業大学 大学院 工学研究科 准教授） 委員：小島 淳（名古屋大学 大学院 法学研究科 教授） 中村 麻理（名古屋文理大学 健康生活学部 教授） 橋本 修三（弁護士） （委員は五十音順）	
審議対象期間	平成31年 1 月 1 日～平成31年 3 月31日	
抽出案件	総件数 6 件	審議案件は表2のとおり
【工事】		
一般競争入札方式 （ 拡 大 ）	3 件	
【建設コンサルタント業務等】		
一般競争入札方式	2 件	
【役務の提供等及び物品の製造等】		
一般競争入札方式	1 件	
委員からの 意見・質問、 それに対する 回答等	意見・質問	回 答
	表3のとおり	表3のとおり
委員会による 意見の具申 又は勧告の内容	なし	

表 2

抽出事案一覧表

(期間:平成31年1月1日～平成31年3月31日)

【工事】

番号	工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備考
	(一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)								
1	平成30年度 富士海岸蒲原第1工区離岸堤工事	一般土木	4	4	H31.2.26	静和工業(株)	259,200	90.36	静岡河川事務所(分任官契約)
2	平成30年度 美和ダム再開発ストックヤード門柱工事	一般土木	5	3	H31.3.22	池田建設(株)	136,404	90.12	三峰川総合開発工事事務所(分任官契約)
3	平成30年度 美和ダム管内維持修繕工事	維持修繕	1	1	H31.3.7	田島建設(株)	18,684	94.90	天竜川ダム統合管理事務所(分任官契約)

【建設コンサルタント業務等】

番号	業務名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備考
	(一般競争入札方式)								
4	平成30年度 越美山系管内施設改築詳細設計業務	土木コン	5	5	H31.2.13	アジア航測(株)	39,787	79.57	越美山系砂防事務所(分任官契約)
5	平成30年度 雲出川堤防補強詳細設計業務	土木コン	19	19	H31.3.27	八千代エンジニアリング(株)	14,634	79.61	三重河川国道事務所(分任官契約)

【役務の提供等】

番号	業務名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (千円)	落札率 (%)	備考
	(一般競争入札方式)								
6	木曾川上流河川事務所庁舎外1箇所で使用する電気	物品の販売	4	4	H31.2.18	関西電力(株)	16,722	82.04	木曾川上流河川事務所

表3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

I. 議 事		
(1) 報 告		
①工事に係る入札方式別発注工事一覧 ②建設コンサルタント業務等に係る入札方式別発注業務一覧 ③役務の提供等及び物品の製造等に係る入札方式別発注業務一覧 ④談合情報等の対応状況 ⑤指名停止等の運用状況一覧表 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦低入札調査制度調査対象工事の発生状況 ⑧一者応札の発生状況 ⑨不調・不落の発生状況 ⑩高落札率の発生状況		
	意見・質問	回 答
	質疑なし	
(2) 審 議		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び工事種別等を考慮したうえで抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回 答
【工事】一般競争入札方式(拡大)		
1. 平成30年度 富士海岸蒲原第1工区 離岸堤工事	富士海岸離岸堤工事は過去からずっとやっている工事なのに参加者が4者というのは少なくないか。	過去の同種・類似工事の入札参加状況は概ね4者前後である。同種工事・類似工事の参加要件からすると、同種の実績を有する者が21者、類似の実績を有する者が56者おり、競争性は担保されていると考える。
【工事】一般競争入札方式(拡大)		
2. 平成30年度 美和ダム再開発ストックヤード門柱工事	参加者5者の内2者が技術者の重複を理由に参加申請を取り下げているが、本工事より他の工事を優先させると判断した理由は何か。	2者は本工事よりも先に他の工事の契約をしたということで、タイミングの問題である。
	加算点が他の業者と比べてかなり低い業者がいるが、加算点の内訳は公表するのか。参加者がどこの評価が低かったのかということを把握できるのか。	加算点の内訳は公表しているので、どの項目の評価が低かったのかということは把握できる。
	加算点について、施工体制が満点なのに企業の能力の評価がかなり低い業者がいるが、なぜ企業の能力が低くなったのか。	企業の能力は平成26～29年度の工事成績を評価するものであり、当該業者は平成19年度の実績しかなかったため、工事成績を評価できず点数が低くなった。
	山梨県境に近い現場だが、地域要件に山梨県を含めることはできないのか。	伊那谷だけで参加可能な者を確認したところ40者あり、このエリアで競争性は確保できると考えた。
	県境に近い現場の場合、一般論として、地域要件は整備局管内で考えるのか。	競争参加資格については2年に1度見直しており、整備局ごとに名簿を作ることになるが、一般土木のC等級については、他の整備局管内の業者が中部地方整備局の名簿に登録してくる者はあまり多くない。一方で、当該案件は対象区域内に参加業者がいるということ、地形的に南アルプスを挟んでおり、図面上は近く見えるが移動距離は遠いという2点から今回の参加要件を設定している。
地形的に問題がない場合で、競争参加者が見込めないという場合には、他の整備局と相談すれば競争性が高まるのではないかと考えるがどうか。	工事の難易度・工種などによって対象区域内で参加者が確保できない場合には他の整備局管内まで区域を広げることは可能である。	

抽出案件	意見・質問	回 答
【工事】一般競争入札方式(拡大)		
3. 平成30年度 美和ダム管内維持修繕工事	同種又は類似工事の入札状況を見るとずっと同じ業者が受注しているが、毎回1者応札なのか。	過去の同種・類似工事の参加者は1～7者が応札をしている状況。ここ2年は1者応札となっている。
	過去の同種・類似工事の平均落札率が96%と割と高いが、予定価格は正確に積算できるものなのか。	歩掛を公表しており、高い精度での積算は可能であると思われる。
	工事の名称について、維持工事、維持修繕工事などの使い分けは工事内容により変えているのか。	名称については「維持工事」を基本的に用いている。「堰堤維持工事」は美和ダムの堰堤そのものが工事対象だったためそのような名称にした。「維持修繕工事」としているのは、早期発注のため、同じ年度に2つの維持工事を発注する都合上、区別するために維持修繕工事とした。
	維持修繕工事については手が上がりにくいという状況は承知しているが、今後の対策として何か考えはあるか。	地域要件としては伊那谷全域としており、参加可能な者は46者いることを確認している。しかしながら、手が上がりにくい状況があるため、少し施工規模を大きくしたり、技術者を配置しやすい条件を考えていきたい。
	この地域には他にもダムがあるのか。他のダムと併せて維持修繕工事を発注することは出来ないのか。	当事務所は美和ダムと小渋ダムを管理しており、県管理のダムもある。しかし、美和ダム・小渋ダム間は車で2時間半ぐらいかかり距離があるので併せるのは難しい。地域要件は伊那谷全域と広く設定しているが、参加してくる者はダムの近くの者が応募する傾向にある。ダムまでの距離が遠いと手が上がりにくくなるため、複数のダムの維持修繕工事をまとめて発注すると逆に手が上がりにくくなるのではないかとと思われる。
【建設コンサルタント業務等】一般競争入札方式		
4. 平成30年度 越美山系管内施設改築詳細設計業務	入札金額が全社同額だが、なぜか。	標準歩掛を採用しており、見積り徴収を行っているがその結果も公表しているため、高い精度で積算できるものとする。
	参加者が正確に積算できるとすると、落札率が79%とかなり低くなっているが、予定価格が高めに設定されているということにはならないのか。	予定価格は適正に設定している。標準歩掛等で高い精度で積算でき、調査基準価格の算定式も公表されているので調査基準価格も高い精度で算定することが可能である。また、各社の受注意欲も高いため、全社、調査基準価格での応札になったものと推察される。
	入札額が同額の場合、評価点で落札者が決まると思うが、本業務の落札者と次順位者では業務成績と企業信頼度がそれぞれ1点ずつ落札者の方が高い。どういう評価で点数を算定しているのか。	過去の業務成績の一覧があり、業務ごとに点数がつくので、その総合点で評価する。
	局長表彰・事務所長表彰の違いは何か。	過去の実績によるもので、局長表彰であれば高い点数がつくし、事務所長表彰の実績しかなければ少し低くなる。
【建設コンサルタント業務等】一般競争入札方式		
5. 平成30年度 雲出川堤防補強詳細設計業務	参加者が19者もいるが、一括審査にしたことで参加者が増えたのか。	1件の詳細設計業務を発注すると、だいたい5者くらいの参加となるが、今回5件の業務を一括審査にしたことで、結果的に19者になったのではないかと推察する。
	入札公告と入札説明書で業務内容の記載が違うものがある。入札説明書には浸透対策を実施すると記載されているが、入札公告にはその記載がないが、なぜか。	両方一緒に公表するものであり、本来は同じ内容となるもの。入札公告と入札説明書で記載が若干異なるが、特記仕様書や数量総括表でも業務内容は記載しており、内容についてはしっかりと説明している。
	技術点評価の内訳で履行確実性が「－」となっている業者があるが、なぜか。	入札金額が予定価格を超えているため「－」としている。
	一括審査の場合、一つの業務を落札すると以降の入札は無効になってしまうが、開札の順番はどのように決めているのか。	今回は、予定価格の高い順としている。

抽出案件	意見・質問	回 答
【役務の提供等】一般競争入札方式		
6. 木曾川上流河川事務所庁舎外1箇所を使用する電気	競争参加資格で二酸化炭素の排出など、環境への配慮を参加要件としており、全ての企業が〇となっているが、点数は公開されているのか。	二酸化炭素排出係数などの条件により、4つの項目によって評価している。4つの項目は点数化したものが公表されており、これらの合計点が60点以上であることを条件として明記しており、自分の企業が何点なのかは把握できる。
	一般の方への公表はされているのか。	環境省のホームページで公表されている。
	電力を一般競争で行うのは、中部地方整備局の方針なのか。	電力の自由化に対する全国的な動きがあり、この中で段階的に一般競争の対象を国土交通省として見直すこととなっている。50Kw以上の高圧電力は早くから自由化されており、高圧電力を利用する当事務所の電気も一般競争で調達することとしている。
	なぜ中部電力は入札に参加しないのか。	過去には参加し、受注もしていたが、この1～2年は関西電力が受注している。平成30年度における中部地整管内の高圧電力の受注状況について確認したところ、高圧電力は40箇所ぐらいで発注しており、中部電力も手を上げているが契約の相手方とはなっていないという実態がある。